

たてはく

芦峯寺の「オンバサマ」に嬉しいニュース



「オンバサマのお召し替え」(令和5年3月13日)



芦峯寺閻魔堂のおんばさま

県の無形民俗文化財に指定されている「おんば様のお召し替え」。かつて、芦峯寺の嬭堂で祀られており、現在は閻魔堂で祀られている木造の嬭尊像(=おんばさま)の着物を年に一度、3月13日に芦峯女性の会の皆様によって着せ替えるという行事です。

この行事が、令和6年1月19日に行われた文化審議会、「オンバサマのお召し替え」という名称で【国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財】に選択するようにと文化庁長官に答申されたという、嬉しいニュースが当館にも届きました。簡単にいうと、「無形の民俗文化財のうち、国の指定や登録されていないものから、特に記録作成などが必要とするものを選択して、国の補助を受けて、記録作成、保存、公開していこう」という制度に、芦峯寺の「オンバサマのお召し替え」を選ぶようにと文化庁長官に伝えたということです。

これは、口承で行われてきた「オンバサマのお召し替え」を、高齢化や時代の流れで行事が変容したり、消滅したりする前に記録しようというだけでなく、年配の

方々から聞き取りしたり、古文書などを調査したり、かつて撮影された映像なども探したりして、正式に遺して伝えていこうというものです。そうすると、聞き取り調査の過程で、実際に行事に関わっている芦峯寺の方々が「なぜこんなことをしているのか?」と考えたり、「先祖が伝えてきた行事を自分たちも後世に遺していかなきゃ!」と認識したりする良い機会にもなります。

当館では、展示館2階におんばさまを常設展示させてもらっており、芦峯寺独特の「お召し替え」についても企画展などでその歴史や由来などを紹介してきました。そのような中で、「記録して後世に遺していきたい無形民俗文化財」の一つとして、今回、芦峯寺のおんばさまのお召し替えを選んでいただけたというのは、立山の歴史や文化を伝えていきたい学芸員としても、調査研究している1人としても、本当に嬉しいニュースです。

今後正式に決定し、本格的に調査がスタートすれば、当館も少しでも芦峯寺の皆様の手になりたいと思います。(細木 ひとみ)

目次

芦峯寺の「オンバサマ」に嬉しいニュース	1
令和6年度 特別企画展のご案内	
日本三霊山連携事業・前期特別企画展「立山・白山・富士山を巡る一立山衆徒と三禪定一」	2
後期特別企画展「説話にみる異界と立山」	2
ミニ出張展示「立山山麓にのこる文化財」	2
学芸課発 立博雑学	
第12回 袖にまつわるお話(3)	3
立山博物館が魅力アップ! ~YouTube「たてはくチャンネル」開設&ホームページを一新~	3
令和6年度 催し案内	4
令和6年度「たてはく友の会」の会員を募集します!	4
立山博物館ボランティアを随時募集しています!	4
編集後記	4





令和6年度 特別企画展のご案内

日本三霊山連携事業・前期特別企画展

立山・白山・富士山を巡る ―立山衆徒と三禪定―

江戸時代に立山・白山・富士山を「日本三霊山」と呼んでいたことが一昨年から注目されはじめ、昨年1月には富山県・石川県・静岡県知事によって「日本三霊山」を活用した地域振興の連携・協力協定も締結されました。そこで、日本三霊山連携事業の一環として、この夏、「三禪定」と呼ばれた三山を巡る旅に再度注目します。

1ヶ月または2ヶ月かけて歩いて三山を巡るといふ、厳しいこの旅には、三山に対する信仰心があったことはもちろん、道中で様々な寺社や名所などへ立ち寄る楽しみもありました。東海地方の人々が盛んに行っており、旅の日記（道中記）や三禪定の習俗を示す石碑・供養塔（三禪定碑）が、現在も知多半島の知多市や常滑市、大府市、東浦町、武豊町などに残っています。本展では、これらの「三禪定」を行った人々の日記や石碑を手掛かりに、三山を巡る旅の歴史やその意味、三山それぞれへの信仰心などを紹介します。また、「立山曼荼羅」だけでなく、「白山曼荼羅」や「富士山参詣曼荼羅」も展示する予定ですので、ぜひ見比べて三山の特徴なども探してみてください。（細木 ひとみ）



大仏山山頂(岐阜県関市)の三禪定碑



平勝寺(豊田市綾波町)の三禪定碑



村木神社(知多郡東浦町)境内の三禪定碑

会期：7月13日(土)～9月23日(月・振替休日)

【担当学芸員展示解説会】7月13日(土)、8月10日(土)・31日(土)、9月14日(土) 14:00～15:00

後期特別企画展

説話にみる異界と立山

江戸時代は、社会の安定や識字率の向上に伴って、人々の知識欲も高まりました。その需要に応えるように商業出版も盛んになると、その題材として「立山」が取り上げられていきます。古来、立山は「地獄のある山」といわれていました。それが江戸時代の仏教観や社会観を背景に、様々な要素が加えられてアレンジされていき、奇妙な現象が起きる「異界」が存在する山といわれるようになり、そこから発想を得た多くの文人たちが思い思いの「立山観」を作品に著すようになります。

本企画展では、この「異界」としての立山がどのように人々に受け入れられていき、また人々の「立山観」が、どのように変容していったかを説話文学を通して紹介します。（奥澤 真一郎）



会期：10月5日(土)～11月4日(月・振替休日)

【担当学芸員展示解説会】10月5日(土)、19日(土)、11月2日(土) 14:00～15:00
10月12日(土)、11月3日(日・祝)、4日(月・振替休日) 14:45～15:45

*展示・撤収作業のため、7月12日(金)、10月4日(金)は、臨時休館します。

ミニ出張展示

「立山山麓にのこる文化財」

立山には称名滝(国名勝・天然記念物)や山崎園谷(国天然記念物)といった自然系の文化財だけでなく、様々な歴史的な文化財がのこり、現代に受け継がれています。特に、山麓の芦峯寺集落には、雄山神社中宮祈願殿境内の開山堂に祀られる木造慈興上人坐像(国重要文化財)や、芦峯寺閻魔堂の木造閻魔王坐像・木造娼尊坐像(ともに「芦峯閻魔堂の仏像群」として県の有形民俗文化財に指定)などがあります。岩峯寺集落の雄山神社前立社壇本殿も国の重要文化財です。

そこで、立山山麓にのこる立山独特の文化財を紹介するパネル展を、富山県教育文化会館内の画廊喫茶ルーエにて行います。

会期：5月2日(木)～5月30日(木)

時間：平日9:00～17:00、土・日・祝10:00～16:00

場所：富山県教育文化会館 画廊喫茶ルーエ

休館日：富山県教育文化会館の休館日に同じ



芦峯寺閻魔堂の木造閻魔王坐像





学芸課発

立博雑学



学芸課によるリレー形式のコラムです。立山や立博についての蘊蓄や魅力を、雑学としてお伝えします。

第12回 袖にまつわるお話 (3)

さてさて、「袖」にまつわるお話の3回目。

夏目漱石が「I love you」を「月が綺麗ですね」と訳した逸話は有名です。管見の限り、これを事実と証明する典拠はありません。しかしここで注目すべきは、男女が月を見て美しさを共感する事で、単なる事実認識にとどまらず互いの心を通わす(すなわち恋愛感情)事ができるという日本人の感性にあります。

このような感性は和歌によくみられますが、「片袖幽霊譚」にもよく表れています。古来、袖が心の象徴である事は周知されていました。亡者が片袖を渡す場面で作者は、亡者の身は「あの世」にありながら、心はなお「この世」に未練を残したままである事を示唆しており、その場面は多くの読者の感性に強く訴えたことでしょう。

ところで17世紀初めに上方で始まった出版業は17世紀後半に江戸に、18世紀には地方の主要城下町に広がります。これに呼応するように「片袖幽霊譚」も亡者が諸国一見の僧等、亡者と遺族の仲介者と出会う場所が越中立山から、箱根山、羽黒山へ、亡者の遺族が住む場所も陸奥外ヶ浜から摂州富田林、福原、平野、京都六条、伊勢松阪、金沢等へと新しい舞台が設定されていきます。出版業を司る書肆は江戸、大坂、京都の三都が中心ですから、読者に身近で認知度の高い場所が舞台に選ばれるようになったのでしょ

う。また17世紀には「片袖幽霊譚」の中に「弁惑物」といわれる作品が登場します。井原西鶴の『本朝桜陰比事』(1689年)、桃溪山人の『怪談辨妄録』(1800年)等があります。このうち『怪談辨妄録』のあらすじは、商家の元奉公人が主家の葬儀の際に死者の着物の片袖を盗み、後日、僧に扮して、立山で死者に会い片袖を託されたと言って主に近づきます。そして主から供養のためにと金品をせしめますが、不審に思った丁稚が僧を尾行し、悪事が露見するというものです。この物語には①「片袖幽霊譚」に懐疑的②悪事は必ず露見する③尾行する(検証する)事で真相が判明、といった要素が含まれています。

「お天道様が見ている」という言葉があるように、江戸時代は仏教の教えが庶民に定着した事で、人々に対してその倫理的拘束力が強まり、生活全般を厳然と規制するようになりました。しかし実際には正直者が損をする事も多々あった訳で、それ故にその倫理的拘束力を検証しようとする意識が芽生えた時期でもありました。

「世の奇怪と称するもの多くはこの如きこと多しけれ」(『怪談辨妄録』)

まさに「弁惑物」は、江戸庶民の思いを代弁する作品でした。ある意味、「弁惑物」は庶民にとって「カタルシス」だったのかもしれない。(奥澤 真一郎)



謡曲『善知鳥』(芦峯寺大仙坊蔵)

立山博物館が魅力アップ!

YouTube「たてはくチャンネル」開設&ホームページを一新

立山博物館では、「立山博物館を中核とした文化観光拠点計画」が文化庁に認定され、5か年で常設展示のリニューアルなど、魅力アップに取り組みます。まず、YouTubeに「たてはくチャンネル」を開設し、館の紹介や立山曼荼羅の絵解き解説の動画をアップしました。そして、ホームページを分かりやすく立博を紹介するものに一新します。また、2階常設展示室に、高精細画像で立山曼荼羅の細部までつぶさに見られるタッチパネルディスプレイを設置します。これらは本号が出る頃にはご覧いただけます。ますます進化し、立山信仰の世界観をよりディープに感じられる立博にご注目ください。



公式YouTube
「たてはくチャンネル」
立山曼荼羅絵解き解説





今年も
楽しいイベントが
満載!!

観覧料

- 展示館
 - 常設展示
 - 一般 300円
 - 企画展示
 - 一般 200円 (70歳以上含む)
 - 大学生 100円
- 遙望館
 - 一般 100円
- まんだら遊苑
 - 一般 400円
 - ◆高校生以下、各種福祉関係の手帳をお持ちの方は無料
 - ◆大学生と70歳以上の方は企画展示以外無料
 - *20人以上団体料金あり
 - *他の施設は無料

特別企画展

日本三霊山連携事業・前期特別企画展 **立山・白山・富士山を巡る一立山衆徒と三禅定**—
7月13日(土)～9月23日(月・振替休日)

後期特別企画展 **説話にみる異界と立山** 10月5日(土)～11月4日(月・振替休日)

ミニ出張展示

立山山麓にのこる文化財 (富山県教育文化会館 画廊喫茶ルーエにてパネル展示)
5月2日(木)～5月30日(木) 平日9:00～17:00、土・日・祝10:00～16:00
休館日:富山県教育文化会館の休館日に同じ

◆**萌木を愛でる会** (青葉を見ながら「立山曼荼羅」の絵解き解説や昔の映像上映を楽しみます)
5月4日(土・祝)、5日(日・祝) 教算坊 申込不要・参加無料

◆**夏休み特別企画 まんだら遊苑・サタデーのしゃぼん玉**
7月20日(土)、7月27日(土)、8月3日(土) 13:00～15:00 ※雨天の場合は中止
まんだら遊苑の天界・須弥山

◆**たてはく探検隊** (立山の自然、歴史、文化について親子で楽しく学びます)
7月27日(土) 展示館、教算坊、閻魔堂ほか 小学生対象 (保護者同伴)
定員25名 要事前申込・参加無料

◆**ミュージアム de ナイト in 芦峯寺** (たてはくが「地獄博物館」に変身!)
8月10日(土)、11日(日・祝)、12日(月・振替休日) 18:00～21:00 (入館は20:30まで)
展示館、教算坊、山岳集古未来館 要常設展・企画展観覧料

◆**文化講演会「東海地域の白山信仰・富士山信仰からみた三禅定」**
8月17日(土) 講師:大阪 大氏 (石川県白山市観光文化スポーツ部文化課課長補佐)
大高 康正氏 (静岡県富士山世界遺産センター学芸課教授)
パレプラン高志会館 カルチャーホール 定員200名 要事前申込・聴講無料

◆**まんだらナイトウォークー光りと香りのページェントー**
9月14日(土)、15日(日) 18:30～20:30 (入苑は20:00まで) まんだら遊苑 要観覧料

◆**桂米福落語会 怪談「江島屋騒動」を聴く会** (後期特別企画展連携企画)
10月12日(土) 13:00～14:30 (12:30より入場開始)
芦峯公民館 入場時に後期特別企画展観覧券(半券でも可)を提示 当日先着50名 聴講無料

◆**もみじを愛でる会** (紅葉を見ながら「立山曼荼羅」の絵解き解説や昔の映像上映を楽しみます)
11月3日(日・祝)、4日(月・振替休日) 教算坊 申込不要・参加無料
各行事の詳細は博物館までお問い合わせください。

各行事の詳細は
博物館まで
お問い合わせ
ください。

令和6年度「たてはく友の会」の会員を募集します!

立山についての理解を深めたい方や立山博物館事業に積極的に参加して下さる方、ぜひご入会ください。心よりお待ちしております。

- ◎特典 有料施設の観覧が無料/②特別企画展の観覧が無料/③博物館行事のご案内/④博物館交流誌「たてはく」(年4回発行)と「研究紀要」(年1回)の郵送/⑤図録ほか、博物館オリジナルグッズの20%割引(一部を除く)/⑥友の会主催行事(バスツアーなど)への参加(一部、実費負担あり)
- ◎会費(年額) 一般会員3,000円/賛助会員(企業・団体等)20,000円[一口]
- ◎期間 入会日から入会年度の3月31日まで
- ◎入会方法 当館受付窓口にて直接申込、または「たてはく友の会事務局」(TEL076-481-1216)まで入会申込書をご請求のうえ、郵便局で会費をお振り込みください。

立山を知りたい方、
立博を応援したい方、
大歓迎!

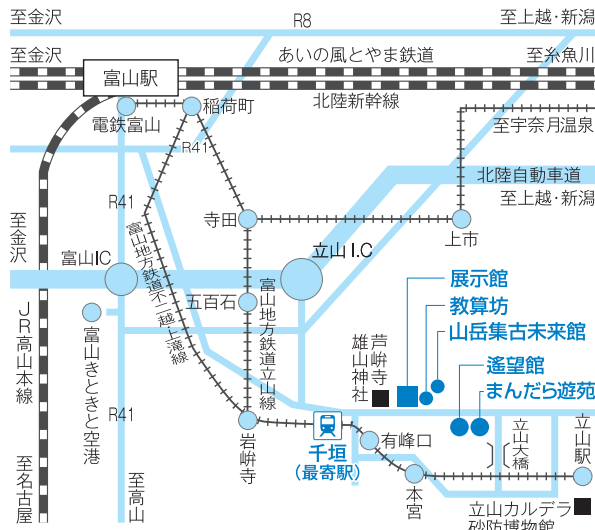
立山博物館ボランティアを随時募集しています!

立山博物館では、まんだら遊苑や芦峯寺集落の解説、教算坊庭園の清掃、各種イベント補助でご協力いただけるボランティアを随時募集しています。初めての方でも、立山信仰や当館施設について楽しく学ぶ各種講座がありますので、お気軽にお問い合わせください。

編集後記

早いもので、令和5年度も終わりに近づいています。今年度、立博では久々に、予定したイベント全てを実施できました。令和6年度は文化観光拠点計画もいよいよ本格的に動き出します。新しい立博に乞うご期待!(M)

案内図



- 最寄り駅 富山地方鉄道立山線千垣駅
下車徒歩(約2km)
※日曜を除き町営バス運行
「雄山神社前」下車すぐ
- 自家用車で JR富山駅から 約45分
立山駅(千寿ヶ原)から 約15分
富山インターチェンジから 約35分
立山インターチェンジから 約30分

立山博物館のホーム
ページはこちらから。



人間と自然のかかわり方を学ぶ

富山県[立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1
TEL 076-481-1216 FAX 076-481-1144

でも情報発信中 立山博物館

